コミキャンの福祉café リト
“まちかど保健室”をテスト開設
～地域の皆さんの健康を応援する、無料の保健室です～

ちょっと気になる健康の事、お気軽にご相談ください

▼地域の病院（済生会、徳洲会）の看護師有志が福祉カフェ・リトを利用して「まちかど保健室」を始めました。

▼福祉カフェ・リトでは地域に開かれた貢献事業として、地域のご高齢の皆さん対象に「いきいき百歳体操」（毎週火曜）を開催しており、これに集う皆さんや、地域の皆さんに「まちかど保健室」無料開催、コミキャンが協力することになりました。





→脈拍同時測定



→相談中の看護師さん

▼まちかど保健室では地域の高齢者はもとより乳幼児の相談もお聞きしています。

▼例えば病院に行くほどでもない症状が相談できます。「ちょっと体がだるい」「血圧が気になる」「生活習慣を見直したい」「メンタルが落ち込んでいる」「介護のいろいろ等」といった、病院受診するほどではない小さな不安や悩みが解決できます。



→血圧の説明

▼相談は専門職（看護師、保健師等）によるサポートが受けられ、基本的なバイタルはその場で測ってもらえます。いずれも料金はかかりません。



▼開催は毎月第2・4火曜、午前11時～午後1時のお昼休みを予定しています。相談の料金はかかりませんが、カフェ・リトで販売している飲料（各200円〈税込〉）や日替わり弁当（700円〈税込〉）などは有料です。詳しくは後日発行の広報をご確認ください。



→通院の報告を聞く看護師さん



▼コミュニティキャンパスでは地域交流の場や、それを活用した皆さんの健康に関する応援もすすめています。ぜひご利用ください。

（コミキャン会長室・柳谷）

〈参考〉
※「まちかど保健室」（または「まちの保健室」）とは、学校や企業の保健室のように、地域住民が病気の予防や健康、人間関係、子育て、介護などの悩みや不安を看護師などの専門職に気軽に相談できる身近な居場所・交流スペースのことです。

コミキャン新聞

第158号

大阪市東淀川区
上新庄2-1-40
TEL：06-4862-6057
http://www.communitycampus.jp/
コミキャン編集委員会
発行者
社会福祉法人
コミュニティキャンパス

コミキャン新聞に掲載された情報（写真等）の著作権・肖像権は全て当該メンバーさんの保護者の方々及び社会福祉法人コミュニティキャンパスに帰属し、無断でこれを複製、利用することを固く禁じます。

●お願い

この広報紙は、福祉事業の一環としてメンバー（利用者）が地域の皆様に手配りさせていただいています。どうぞご理解いただきますよう、お願い申し上げます。

“会長室便り”③

・・・牧野篤子コミキャン会長の「話しておきたいこと」をまとめています

あきらめない社会参加への挑戦

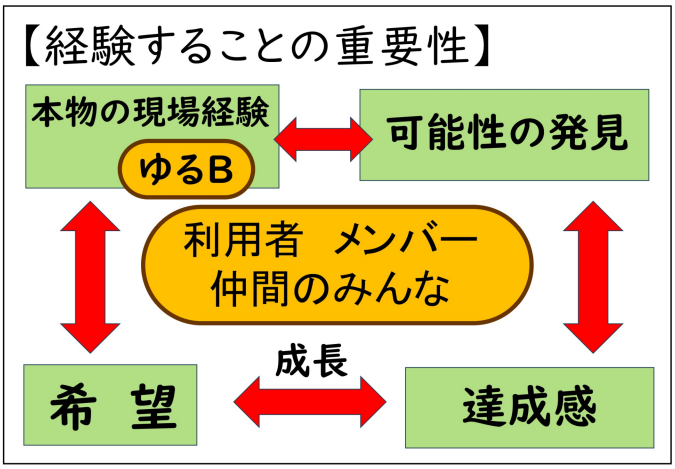
「メンバーさんには様々な体験や経験が必要」

▼国の法律は18歳までの児童福祉法、18歳からは障害者総合支援法と支援の制度が大きくかわります。今まで児童福祉法の枠でサービスを受けていたものが18歳を境に制度上は打ち切られることになります、ただそれでは利用者本人や保護者家族の負担が激変することから、関係者が集まって会議を開き、支援の内容を精査しシームレスな支援を提供することになります。

▼例えば、放課後等デイサービスは、生活介護・自立訓練などの施設に、児童発達支援は、就労移行支援・生活訓練などに振り替えることをしています。ところが現実問題として、これまで慣れ親しんできた施設や環境（友達・職員）を変えなければならない。そこで制度の間をただ単に回避するのではなく「ステップアップ」と捉えて新たな経験や体験にチャレンジするサービスを提供することが考えられます。

▼それには利用者メンバーさんの個性や特性に合わせた体験、経験の場所を予め用意しておくことです。

▼今コミキャンでは「ゆるB」というサービスを提唱しています。



これは就労継続支援B型事業所をもう少し緩やかにした作業所で、生活介護に所属しているメンバーさんの体験の場として提供しています。福祉カフェ「リト」などがそれです。

〈参考〉※「ゆるB」とは「B型作業所の緩やかなもの」で障害福祉の制度上は存在しませんが、生活介護のメンバーさんであっても、就労の体験ができる仕組みを提供しています。



▼例えば就労の第一歩「接客業務体験」は、実際にカフェにこられる本物のお客さんにご挨拶をし、飲み物の注文をとり、いれたてのコーヒーを給仕し、テーブルに伝票を置いてくる一連の動作、できれば現金の受け渡しまでを体験しています。



▼「できた」の達成感と「よくやったねえ」の一言で、このメンバーさんは大きく成長します。もしできなくても、次の「チャレンジをあきらめない」の精神が大切なのです。

（コミキャン会長室）

常光円満寺で法要

“仲埜勇次さん安らかに”

～ご出席いただいたすべての皆さま ありがとうございます（法要を終えて）～



仲埜勇次（なかのゆうじ）さん

令和8年9月2日突然お亡くなりになりました。78歳でした。その1週間前の8月27日には元気でお会いしていました。週に一度コミュニティキャンパスの福祉カフェ「リト」に来ていただいて色々な相談に乗っていただいていました。

▼8月27日、その日は笑いながら「俺、断捨離してるねん。」と仰って、リトの2階で書類の整理をされていて3時頃には、「さよならまた又ね。」と笑顔で帰られました。

▼9月4日朝、奥様から電話があり「9月2日の朝4時、主人が突然亡くなりました。」と連絡があり、もうびっくりで声も出ませんでした。

▼突然の事に奥様は私よりもっと驚かれているだろう思いましたが、お通夜もお葬式もご家族でお済とのことでした。

▼生前からご夫婦でコミキャンの菩提寺である常光円満寺の供養のお話をお二人でされていたようで、急遽お寺のご紹介をすることになりました。10月3日にメンバーさん恒例のお参りをすることになっていましたので、仲埜さんの法要も併せてお寺にお願いすることになりました。

▼思いおこせば2001年、仲埜さんの奥様が柴田政治さん（アイビー基金創設）をご紹介下さった時からのご縁で、仲埜ご夫妻とは長いお付き合いとなりました。

▼私は主人に「死ぬまで働く」と言い、主人からは「コミキャン道楽！」と言われています。仲埜さん、待っていて下さい。いつかあちらでお会いしましょうね。これからもよろしくお見守り下さい。

（合掌）

（コミュニティキャンパス牧野篤子）

西河原コミキャンの活動、紹介します

7月・8月にありました夏祭り、西河原・橋の内コミキャン物販3件の様子を紹介させていただきます。

←サニースポット夏祭り



7月25日（土）「社会福祉法人つながり」さんの「サニースポット夏祭り」にて橋の内コミキャンの製菓と摂津コミキャンのパンや雑貨の販売を行いました。毎年、お声がけいただき、参加させていただいているので、リピーターさんも多く来店され、今年もほぼ、完売できました。

←耳原小学校夏祭り

7月25日（土）「耳原小学校ふるさと祭り」にて、橋の内の製菓とスーパーボールを出店しました。地域の方と一緒に事前準備のテント貼りや机並べなど、スタッフも大活躍。店番に保護者さんがボランティアで来てくださったりと、とてもとても暑い一日でしたが、みんなで一体となれたお祭り参加でした。





←西河原小学校夏祭り

8月22日（土）普段から運動会やクリーンキャンペーンなど、交流がある西河原小学校のふるさと祭りにて橋の内の製菓を出店しました。

今年からは実行委員として運営にも参加させていただき、地域貢献できる機会をいただきました。スタッフは前日準備、当日、後日片付けと暑さとの闘いでしたが、地域の方がお祭りを楽しまれている様子がとても励みになりました。





※製菓販売を通して、地域の方と交流を図ったり、地域活性化のお手伝いとして西河原コミュニティキャンパス（橋の内）が貢献できるように、これからも頑張っていきたいと思います。関係者の皆さん、これからもどうぞよろしくお願い致します！

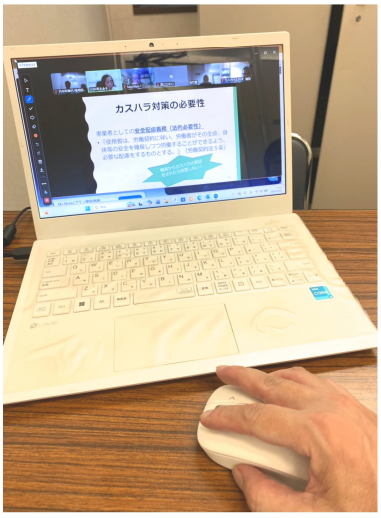
（西河原コミキャン・藤本）

カスタマーハラスメント研修 ZOOMで開催

令和8年度 第2回コミキャン研修



▼10月6日（17時～19時10分）「令和8年度第2回法人研修」をZOOMで行いました。参加者は48名及び研修委員4名。講師は進陽法律事務所の弁護士・荒木永子先生。カスタマーハラスメントをテーマに講義いただきました。



▼労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実に関する法律（カスハラ対策法）が令和8年10月1日に施行され、カスタマーハラスメント対策義務化に伴い多くの職員が勉強の機会を得ました。

事前のアンケートで現場の課題を拾い上げていただき、職員の不安も軽減出来たと思います。とても有意義な研修になりました。

（コミキャン職員・渡邉）



摂津コミキャンの活動、紹介します

ダイビング体験



９月５日（土）和歌山県の方杭海岸までダイビング体験に行ってきました。今年は理事長から「各所に参加を募って」との声もあり、昨年より多くの方に体験して頂く事ができました。なかには「前に体験して楽しかったので」と私がこのゆびとまれ（自立訓練）を担当していた頃に参加した利用者さんもいて（もう10年位前でしょうか・・・）この活動が記憶に残る体験となっている事を本当に嬉しく感じました。



▼参加者・スタッフからは
「海、温泉、楽しかった」（利用者ＮＫさん）
「また会いましょう。ありがとうございます」（利用者ＴＥさん）
「海たのしかった、また行きたい」（利用者ＴＮさん）

「難しい足をつけて何回か繰り返しながら、海に入れまで泳いまでになりました」（川崎スタッフ）
「私達が普段見ることがない利用者さんの笑顔や自然の笑顔での下さり貴重な経験になりました。」（折田スタッフ）
「発見ができました。皆が解放され笑顔で楽しめる空間になる事を知りました。」（川崎スタッフ）
など・・・



▼今回の体験はＮＰＯ法人オーシャンゲートジャパン協力のもと行われています。利用者さんの状態を見ながら、安全に海洋体験をさせて頂きました。活動に参加してくれた利用者さんはもちろんの事、和歌山まで運転してくれたスタッフ、朝早くにお弁当を作ってくれたスタッフ、送迎してくれたスタッフ、快く参加させて下さるご家族の皆様・・・たくさん支えて頂いて、みんなの記憶に残る素晴らしい体験となりました。また来年を楽しみに。ありがとうございました。

物販に大忙し

秋になり、摂津コミキャンは物販に大忙しです。近年の夏の猛暑・酷暑があり、夏のイベントの開催が、秋に変更となるケースが増えてきました。

▼10月・11月はまさに販売ラッシュといった感じで、休日に２、３か所のイベントが重なることも珍しくありません。そんな中、利用者さんは割とマイペース・・・スタッフは「遅刻せず来てくれるかな・・・」「お休みいないかな？」と、ドキドキしながら毎日の製造を見守っています。焼き菓子、予定数、無事に作れますように！！

この秋、どこかで皆さんとお会いできるかもしれません。お気軽に摂津コミキャンのテントを見ていってください。お待ちしています。

▼摂津コミキャン、様々なイベントに参加します！

10月「えぇもんフェスタ」←



「安威川公民館祭り」、「新鳥飼公民館まつり」←



↑「南千里丘コミュニティプラザ秋まつり」。11月の予定は「エフロノットとんぼアートフェスティバル」・「せっつ飯フェス」・「多幸公園まつり」・「オレンジリボンフェスタ」などなど・・・



摂津市役所にコミキャンクッキー置いて頂きました

摂津コミキャン設立４年となります。設立からずーっと欠かさずやっていることがあります。それは週に１回、摂津コミキャン前にテントを張って、パン・焼き菓子・雑貨の販売をすること。地域の方に中でどんな作業をしているか、知って頂く為にしています。



▼摂津コミキャンは１階が就労継続支援Ｂ型（パン・焼き菓子製造）、２階が生活介護（創作・軽運動・手織り）です。

今は毎週金曜となった販売日。前日にはみんなでお知らせのチラシを持って近所へポスティングに行きます。当日は顔なじみのお客様が買い物に来てくれます。

「暑い中、がんばってるね」「これ、作ったの？すごいね！」「こないだ買って、おいしかったよ」お客様が直接かけてくださる声は、利用者さんの次の活動の力になります。また１週間がんばろう！って思えます。

最近「ここ以外で買えないの？」という声がチラホラ・・・

▼先日、縁あって、摂津市役所内食堂の売店（母子福祉会運営）で販売させて頂く事になりました。←



あと、何ケ所か摂津市内でコミキャンクッキーが買える場所、増やす予定です。



摂津市役所へお立ち寄りの際は売店覗いてみてくださいね。よろしくお願いします。

（摂津コミキャン・角田）